



—橘 三朗—

企業の志魂

こころ

歴史に人あり
人に志あり
企業に魂あり

Vol. 1049

ナミリスダイナミックバンク

「予知防犯」で独自展開

「功を拙に蔵して」の成長

(菜根譚)は功を拙に蔵し「非凡な才能を内に秘めてはいても拙いようにふるまい」、「晦を用いて明らかにし」(優れた知恵をひけらかさずに明察し)、「清を濁に寓す」(清節を保持しながらも俗悪な世間の真っ只中に身を置く)ことを心掛け

よと説いている。そのように「屈を以って」(身をかがめて)いれば、やがては「伸をなす」(飛躍する)ことができるという教えた。まさに今、人も企業も心したい。

(株)ナミリスダイナミックバンク(代表取締役CEO・南木政人氏)は、予知防犯(犯罪者の思考を踏まえ音や光の出る設備で威嚇するなど、犯罪を未然に防ぐ住宅設計のこと)という近未来の領域で、ワンランク上の住宅選びを推奨し、普及に努めている21世紀型の先進派企業。同社は建築業者でありながら、セミナーや防犯診断、防犯設備の販売なども手掛ける複合機能を併せ持つ異才プロフェッショナル集団だ。中でも独自のブランド、カタログ住宅販売「グッドジョブハウス」は評価が高い。20坪の土地があれば建築可能で、コンパクトでありながら「アクティブセキュリティハウス」と銘打ち、同社のノウハウを詰め込んだ防犯対策が施されている。「人生を愉しむ」をコンセプトに掲げる企業ゆえに、その成長の基軸も人と地域と時代への挑戦という三位一体の融合に他ならない。功を拙に蔵し、晦を用いて明らかにし、清を濁に寓して、屈を以って伸をなしたと言えよう。「総合テク

ノロジーバンク」の真骨頂だ。つば市下広岡1-0-5・600